

草の根技術協力（地域活性化特別枠）事業概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	カンボジア
2. 案件名	カンボジア国救急医療に係わる研修コース・試験制度の構築と市民への応急処置法の普及事業
3. 事業の背景と必要性	<p>カンボジアでは救急医療に関する最低限の資機材と技術がないため、適切な処置ができずに落命するケースは少なくない。その上、カンボジアの実情に合った救急医療の研修プログラムや教材が未整備で人材育成も進まないため現地の医療従事者のニーズは極めて高い。</p> <p>また一般市民の中には、傷に魚醤、火傷に牛糞など誤った民間療法を行う人が多く、正しい応急処置法を学ぶ機会が必要である。</p>
4. プロジェクト目標	カンボジアの事情にあった継続的な研修コースが構築され、小規模病院（CPA1-2 など）で適切な初期対応ができ、かつ必要時は適切に中核病院（CPA3）に転院搬送できる人材が養成される。
5. 対象地域	カンボジア国バットアンバン州
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	<ul style="list-style-type: none"> ・バットアンバン州（モデル地区）の医療従事者 男女とも、20-50 歳代、300 人程度、 ・モデル地区の住民 男女とも、全年齢層、バットアンバン州人口 ・（トレーニングプログラムの構築によって将来的に）カンボジア王国の医療従事者男女とも、20-50 歳代、1 万人程度 ・カンボジアで救急搬送・救急医療を受ける人 カンボジア国民の 6 割程度
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1：モデル地区において救急医療を実施、指導できる人材が養成される 2：カンボジアの実情に合った救急医療トレーニングプログラムとテキストがカンボジア語で作成される 3：プログラムに沿った救急医療を実践、また指導できるかの試験方法が整備される 4：トレーニングプログラムが継続的に実施できるように最低限の資機材がモデル地区に配備され、適正に使用・管理される 5：住民の中で応急処置法を身に付けた人材が育成される 6：市民（国内・現地）の国際協力や当事業に対する理解を深める <p>【活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1：救急医療を指導、実践できる人材の育成のための研修をモデル地区において行う 1-2：指導者となれる人材を日本に招聘して研修を行う 2-1：救急トレーニングプログラムを作成する 2-2：教育研修に必要なカンボジア語のテキストを作成する 3-1：プログラムに沿った救急医療を実践、また指導できるかの試験方法および合否判定方式を整備する 4-1：救急医療に関する資機材配備の支援をモデル地区において行う 4-2：資機材の使用及び管理における研修をモデル地区において行う 5-1：住民向けの応急処置法と保健・予防のハンドブックを作成する 5-2：住民向けのワークショップを開催する 6-1：国内市民に向けた報告会を開催する 6-2：パネルや広報誌などを活用した広報活動を行う
8. 実施期間	2022 年 9 月～2025 年 9 月（3 年）
9. 事業費概算額	70,024(千円)
10. 現地カウンターパート	保健省、バットアンバン州保健局
II. 実施団体の概要	
1. 提案地方公共団体名／団体名	高松市（指定団体：特定非営利活動法人 TIC0）
2. 活動内容	<p>■高松市「国際・国内交流の推進」を掲げ、市民活動団体と協力し、途上国への支援、人材派遣などを行っている。JICA 草の根技術協力事業「救急医療における人材育成を通じた国際協力（カンボジア）プロジェクト」を実施</p> <p>■TIC0 国際協力団体 ザンビア、カンボジアなどで活動</p>